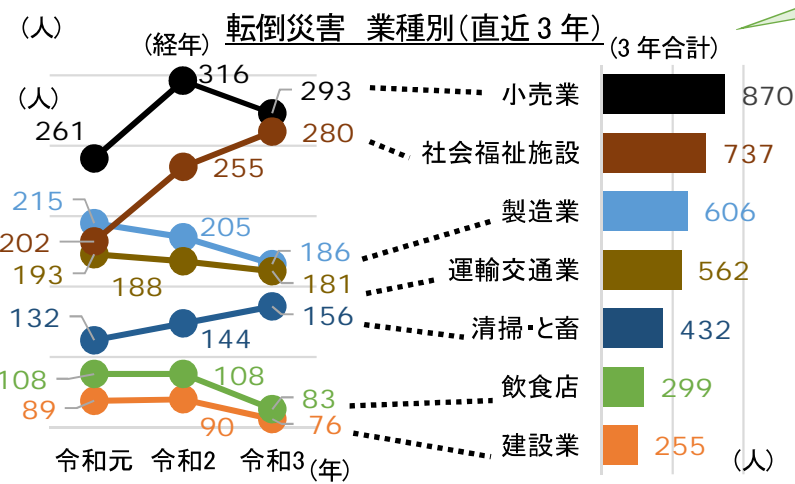
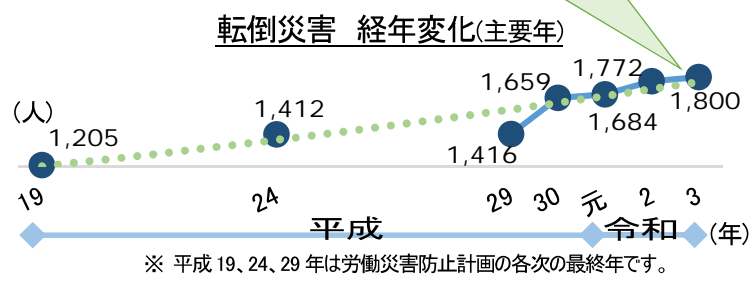
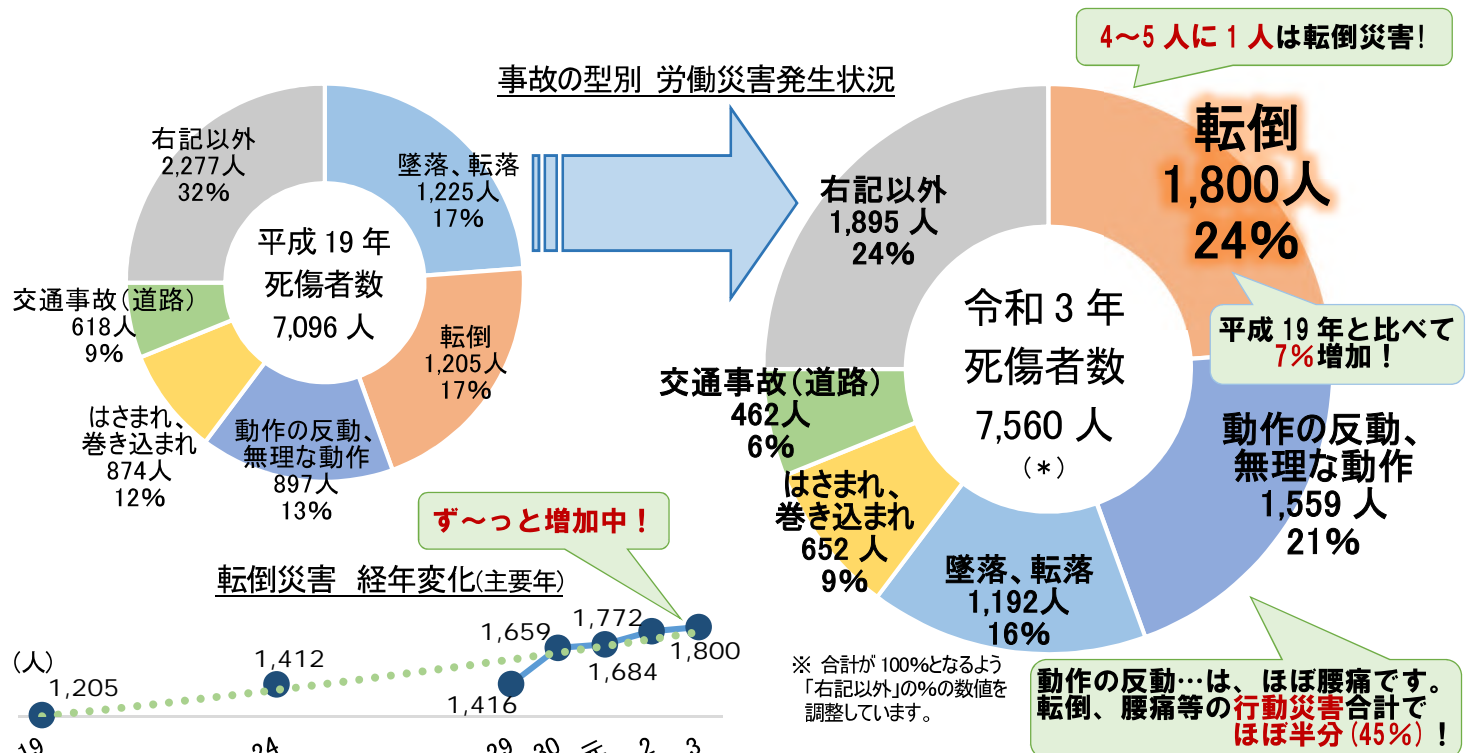


転倒防止に集中!!

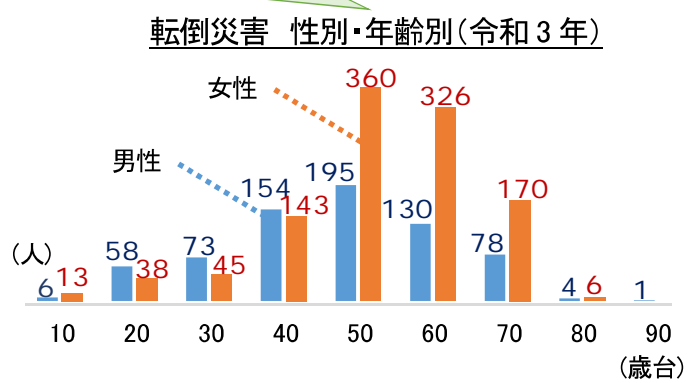
STOP! 転倒災害プロジェクト神奈川 2022 推進中

令和3年に神奈川県内で発生した休業4日以上の労働災害での死傷者数は8,668人であり、新型コロナウイルスによる人数を除外(*)すると7,560人でした。事故の型別では「転倒」が24%を占め、近年増加傾向にあります。



小売業で多発! 社会福祉施設は3年で被災者が1.5倍!

若年層と比較して、50歳台以上で多く発生し男性より女性が多く被災!



6月は、転倒災害防止の重点取組期間です!

神奈川労働局・県下各労働基準監督署



転倒災害防止は、**3つの注意（STF注意）**が基本です。



すべり注意



つまずき注意



踏み外し注意

以下のチェック項目で事業場を点検してみましょう。

	チェック項目	☑
1	通路、階段、出口に物を放置しない	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除く	<input type="checkbox"/>
3	安全な移動のため、十分な明るさ（照度）を確保	<input type="checkbox"/>
4	転倒予防のための教育を実施	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は ①作業現場に合う対滑性があり ②適したサイズのもの を選ぶ	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報から、転倒しそうな／過去に転倒のあった場所の 危険マップを作成し、周知	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や、滑りやすい場所などへ、標識などで注意喚起	<input type="checkbox"/>
8	ながらスマホ、ポケットに手を入れて歩く、手すりを持たない階段昇降 などを禁止	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を導入	<input type="checkbox"/>

皆さまの職場には似たような危険はありませんか？
転倒災害を防ぐには、次の取り組みが有効です。

- 1 作業場所の整理整頓
- 2 作業場所の清掃
- 3 毎日の運動

体操の参考に！



「ころばNICEかながわ体操」